

# 教育研究業績書

2017年05月29日

所属：薬学科

資格：准教授

氏名：奥田 浩人

研究分野	研究内容のキーワード
皮膚・疫学	皮膚・疫学
学位	最終学歴
博士(医学)	兵庫医科大学大学院医学研究科 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 薬物治療学	2009年6月1日	ベーシック薬学教科書シリーズ 薬学生が身につけておかなければならない知識および臨床能力を高めるために分担執筆した。
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 医師免許	1995年5月	
2. 薬剤師免許	1988年5月	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
1. Factors Related to Prevalence of Hallux Valgus in Female University Students: A Cross-Sectional Study	共	2014年	J. Epidemiology	
2. 高齢者水痘の1例	共	2012年	臨床雑誌内科	
3. Caffeic acid phenethyl ester suppresses the production of adipocytokines, leptin, tumor necrosis factor -alpha and resistin, during differentiation to adipocytes in 3T3-L1 cells	共	2011年	Biol. Pharm. Bull.	
4. Caffeic Acid Phenethyl Ester inhibits differentiation to adipocytes in 3T3-L1 mouse fibroblasts	共	2011年	Biol. Pharm. Bull.	
5. 動眼および滑車神経麻痺をきたした帯状疱疹の1例	共	2009年	皮膚科の臨床	
6. Drug combinationによる固定薬疹の1例	共	2007年	小児科臨床	
7. 糖尿病性ケトosisに合併した色素性痒疹の1例	共	2007年	皮膚科の臨床	
8. 下肢に生じたStewart-Treves症候群の1例	共	2006年	皮膚の科学	
9. Melanocyte colonizationがみられた乳房Paget病の1例	共	2002年	臨床皮膚科	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
10. Thiopental enhances human platelet aggregation by increasing arachidonic acid release	共	2001年	Can. J. Physiol. Pharmacol.	
<b>その他</b>				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			